

スポット
ニュース

瑞浪超深地層研究所 地上施設の解体

瑞浪超深地層研究所の坑道の埋め戻しは、地表近くまで進んだことから、5月で埋め戻しを一旦終了し、地上施設の解体作業を行っております。現在は、大型重機等を使用して主立坑及び換気立坑の櫓防音ハウスを解体しています。

引き続き、安全確保を第一に進めて参ります。



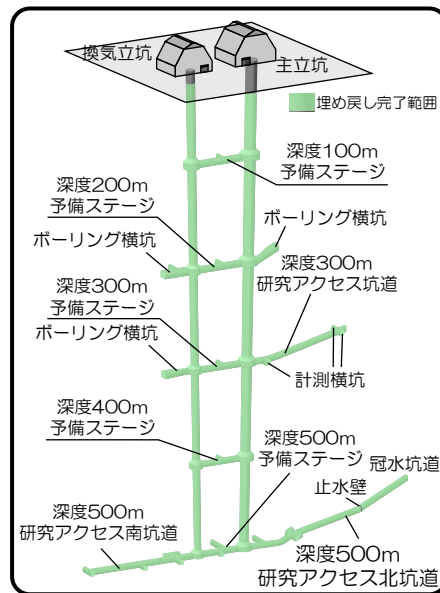
2021年7月28日撮影



2021年8月20日撮影

防音ハウスと櫓の解体作業

【坑道埋め戻し状況】



第2回サイエンスカフェを開催！

7月24日（土）、セラトピア土岐において「第2回サイエンスカフェ」を開催し、27名の方にご参加いただきました。

今回は、「温泉はどこから来たか？」をテーマとして、温泉の定義や歴史、効能、温泉水の由来などについてお話ししました。また、瑞浪超深地層研究所の深度500mの地下水分析結果を例に、本地域の深部地下水の由来についてもご紹介しました。



サイエンスカフェの様子

- ①地上施設の解体作業
- ②坑内外設備の維持管理
- ③研究坑道内における応力計測（東濃地震科学研究所による施設供用）
- ④環境測定

9月の主な作業予定

【地下水の環境モニタリング調査】

	地下水の水圧・水質観測	地下水の水圧観測
瑞浪超深地層研究所	<ul style="list-style-type: none"> ◆地表（6孔） ◆深度100,200,300,400m予備ステージ（各1孔） ◆深度300m研究アクセス坑道（1孔） ◆深度500m研究アクセス北坑道（1孔） ◆深度500m研究アクセス南坑道（1孔） ◆換気立坑接続部（深度500,400,300,200,100m） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆深度300mボーリング横坑（換気立坑側2孔） ◆深度300m研究アクセス坑道（1孔） ◆深度500m研究アクセス北坑道（3孔）
正馬様用地	◆地表（4孔）	

【研究所周辺の環境影響調査】

- ・狭間川における流量観測、研究所周辺井戸での水位観測、研究所周辺における騒音・振動調査、研究所周辺の環境管理測定、環境保全協定に基づく排水等の測定（放流先河川水の水質）

「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定書」 第2条に基づく排水水等の測定結果（令和3年7月分）

【採取日：河川水（令和3年7月1日）】

測定項目	管理目標値※1	狭間川下流	参考値※2	狭間川上流
水素イオン濃度	6.5～8.5	7.1	—	7.0
浮遊物質量	25以下	3		2
カドミウム	0.003以下	0.0003未満	0.003以下	0.0003未満
全シアン	検出されないこと※3	ND(0.1未満)※4	検出されないこと※3	ND(0.1未満)※4
鉛	0.01以下	0.005未満	0.01以下	0.005未満
六価クロム	0.05以下	0.02未満	0.05以下	0.02未満
砒素	0.01以下	0.005未満	0.01以下	0.005未満
総水銀	0.0005以下	0.0005未満	0.0005以下	0.0005未満
アルキル水銀	検出されないこと※3	ND(0.0005未満)※4	検出されないこと※3	ND(0.0005未満)※4
PCB	検出されないこと※3	ND(0.0005未満)※4	検出されないこと※3	ND(0.0005未満)※4
トリクロロフル	0.01以下	0.001未満	0.01以下	0.001未満
テトラクロロフル	0.01以下	0.0005未満	0.01以下	0.0005未満
四塩化炭素	0.002以下	0.0002未満	0.002以下	0.0002未満
ジクロロメ	0.02以下	0.002未満	0.02以下	0.002未満
1,2-ジクロロメ	0.004以下	0.0004未満	0.004以下	0.0004未満
1,1,1-トリクロロメ	1以下	0.0005未満	1以下	0.0005未満
1,1,2-トリクロロメ	0.006以下	0.0006未満	0.006以下	0.0006未満
1,1-ジクロロフル	0.1以下	0.002未満	0.1以下	0.002未満
ビス-1,2-ジクロロフル	0.04以下	0.004未満	0.04以下	0.004未満
1,3-ジクロロベン	0.002以下	0.0002未満	0.002以下	0.0002未満
チウラム	0.006以下	0.0006未満	0.006以下	0.0006未満
シマジン	0.003以下	0.0003未満	0.003以下	0.0003未満
チオベンカルブ	0.02以下	0.002未満	0.02以下	0.002未満
ベンゼン	0.01以下	0.001未満	0.01以下	0.001未満
セレン	0.01以下	0.002未満	0.01以下	0.002未満
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10以下	0.31	10以下	0.31
ふっ素	0.8以下	0.08未満	0.8以下	0.08未満
ほう素	1以下	0.02未満	1以下	0.02未満
1,4-ジオキサン	0.05以下	0.005未満	0.05以下	0.005未満

【測定に関するお知らせ】

瑞浪超深地層研究所の埋め戻し工事の進捗に伴い、環境保全協定に基づく測定のうち、狭間川の下流と上流の河川水の測定を除く以下の項目の測定は終了しました。

◆「立坑の湧水」及び「工事排水水」は、研究坑道の埋め戻しが地表近くまで進み発生しなくなったことから、これらの測定は令和3年5月を以て終了しました。

◆「花木の森散策路における空間放射線線量率」の測定は、ウランを微量に含む掘削土の搬出が完了したため、令和3年6月を以て終了しました。

なお、掘削土の溶出量（主立坑、換気立坑）の測定は、研究坑道の掘削が終了し、掘削土が発生しなくなったことから、平成26年7月を以て終了しました。

- ※1 環境基本法に定められた基準値以下で管理するため、同法の基準値を「管理目標値」として設定しています。
- ※2 狭間川上流は管理対象外であるため、環境基本法の基準値を「参考値」として表示しています。
- ※3 「検出されないこと」とは、測定項目ごとに定められた検定（測定）方法で測定した結果が当該検定方法の定量限界を下回ることを表します。
- ※4 「ND」とは目的の成分が検出できないほど微量か、またはゼロであることを表します。NDの後のカッコ内の数値は検出限界値を表します。

河川水の塩化物イオン濃度の測定結果(7月)

【採取日：週2回】（単位：mg/L）

測定項目	狭間川上流	明世小学校前取水口
塩化物イオン濃度 ※カッコ内は月平均の値を示す (有効数字2桁 3桁目は切り捨て)	1.4～1.5 (1.4)	3.4～4.7 (4.0)

◆令和3年5月を以て「立坑の湧水」及び「工事排水水」の測定が終了したことから、現在、狭間川の上流と明世小学校前取水口の河川水のみ測定を行っています。

【単位：mg/L（水素イオン濃度はpH）】

地層研ニュースに関するご意見・ご要望 土岐地球年代学研究所見学のご質問・申込先

☎ 0572-53-0211（代表）

✉ tono-ck@jaea.go.jp（ご意見・ご要望）

☎ 0572-55-4114

連絡先：東濃地科学センター 総務・共生課 まで



〈見学のご案内〉

【見学可能日時】平日（月・水）9：00～12：00、13：30～16：00（詳細は右QRコードを参照）

【見学時間】1時間10分程度（東濃地科学センターの概要説明、分析室等の見学）

【対象年齢】小学4年生以上（小学生の方は、保護者同伴）

【見学人数】1団体4名以下（新型コロナウイルス感染症対策のため少人数での見学）



《見学案内HP》

原子力機構公式 Twitter
https://twitter.com/jaea_japan



原子力機構の Twitter では研究成果やイベント情報などをお知らせしています。

